

大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士後期課程）

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

看護科学領域

博士前期課程で修得した看護職としての高度な専門性にに基づき、独自に研究課題を設定、計画の立案、看護研究の進展、成果の発表を通じて、看護学の発展に寄与する研究者の養成を目的とします。

したがって、以下のような方の応募を期待します。

- ・看護系大学の教員を目指す人。
- ・病院などで指導的立場になることを目指す人。
- ・看護学の探究を目指す人。

医療科学領域

本領域では生体情報を扱う医療画像技術、放射線治療技術、組織・細胞・生体分子を検査対象とする臨床検査技術、及び医工学手法を融合した生体情報計測・検査技術を対象とし、「医療科学」の更なる発展を指導できる人の育成を目指しています。

したがって、以下のような人材を求めています。

国民の医療・健康・福祉のため、「医療科学」の学問体系を更に発展させることができる意欲あふれた人。

独創的な研究を遂行できる高度医療専門職及び教育者・研究者としてこの分野のリーダーとなる素養を有する人。

医療技術の視点で、学際的研究にも積極的に取組み、先端技術の新たな理論の構築並びに医療応用の研究を推進できる人。

リハビリテーション科学領域

リハビリテーションの発展に先駆的に寄与したいと願う人材を求めています。

神経・筋・関節の微細構造と機能の解析そして病態と回復の根拠の解析。中枢神経あるいは高次脳機能の障害の解析ならびに回復促進技術の開発と効果の根拠の検証。環境に適応して生活の自立を進める技術と自立の障害を予防する方法の開発。これら課題の統計学的検査と検定。以上の研究をともに推進するなかで、発見し道を開いていく、意欲ある人の応募を期待しています。